

<生化学・免疫検査項目一覧>

平日日勤帯

★は緊急・至急検査における所要時間を示す。(受入不可検体で再提出となったものは除く) *JCCLS 共用基準範囲

検査項目	検体量 (mL)	検査材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考
総蛋白	0.2	血清	ビウレット法	6.6～8.1*	g/dL	★30-60 60-240	
アルブミン	0.2	血清	BCP 改良法	4.1～5.1*	g/dL		
蛋白分画	0.1	血清	セ・ア膜電気泳動法	※1		1 日	
T-Bil	0.2	血清	バナジン酸酸化法	0.40～1.50*	mg/dL	★30-60 60-240	
D-Bil	0.2	血清	バナジン酸酸化法	0.00～0.40	mg/dL		
ALP(IFCC)	0.2	血清	IFCC 法	38～113*	U/L		
AST	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	13～30*	U/L		
ALT	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：10～42* 女：7～23*	U/L		
γ-GT	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：13～64* 女：9～32*	U/L		
LD(IFCC)	0.2	血清	IFCC 法	124～222*	U/L		
CK	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：59～248* 女：41～153*	U/L		
ChE	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	男：240～486* 女：201～421*	U/L		
AMY	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	44～132*	U/L		
P-AMY	0.2	血清	JSCC 標準化対応法	14～53	U/L		
CRE	0.2	血清	酵素法	男：0.65～1.07* 女：0.46～0.79*	mg/dL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
eGFR	0.2	血清	計算	>90	mL/min/ 1.73m ²	★30-60 60-240	
UN	0.2	血清	ウレアーゼ GLDH 法 (ICDH)	8.0~20.0*	mg/dL		
UA	0.2	血清	ウリカーゼ POD 法	男：3.7~7.8* 女：2.6~5.5*	mg/dL		
ナトリウム	0.2	血清	イオン選択電極法	138~145*	mmol/L		
カリウム	0.2	血清	イオン選択電極法	3.6~4.8*	mmol/L		
クロール	0.2	血清	イオン選択電極法	101~108*	mmol/L		臭素やヨウ 素の濃度が 高い場合偽 高値となる
カルシウム	0.2	血清	キレート法 (NM- BAPTA 法)	8.8~10.1*	mg/dL		
無機リン	0.2	血清	酵素法	2.7~4.6*	mg/dL		
マグネシウム	0.2	血清	キシレンブルー法	※2	mg/dL		
血清鉄	0.2	血清	ニトロソ PSAP 法	40~188*	μ g/dL		
UIBC	0.2	血清	ニトロソ PSAP 法	男：170~250* 女：180~270*	μ g/dL		
TIBC	0.2	血清	計算	男：253~365 女：246~410	μ g/dL		
総コレステ ロール	0.2	血清	コレステロール酸化 酵素法	142~248*	mg/dL		
HDL-C	0.2	血清	選択的抑制法	男：38~90* 女：48~103*	mg/dL		
LDL-C	0.2	血清	選択的可溶化法	65~163*	mg/dL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
TG (中性脂肪)	0.2	血清	酵素法(遊離グリセ ロール消去)	男: 40~234* 女: 30~117*	mg/dL	★30-60 60-240	
ケトン体	0.2	血清	酵素サイクリング法	0-74	μ mol/L		
血糖	0.3	血漿	GOD 電極法	空腹時 73~109*	mg/dL	★20-60 30-120	
HbA1c	1.0	全血	HPLC 法	4.9~6.0*	%		
アンモニア	0.5	全血	ドライケム	12~66	μ g/dL	10-30	氷冷で直ちに 提出
血清浸透圧	0.3	血清	氷点降下法	275-290	mOsm	★30-60 60-240	
CCR	各 0.2	血清 尿	酵素法	91~130	mL/min/ 1.73m ²		尿は全量 提出
24 CCR	各 0.2	血清 蓄尿	酵素法	91~130	mL/min/ 1.73m ²		蓄尿の一部 尿量必須
U-AMY	0.2	尿	JSCC 標準化対応法	0-585	U/L		
NAG	0.2	尿	MPT-NAG 基質法	<11.5	IU/L		
尿タンパク (随時尿)	0.2	尿	ベンゾニウムクロラ イド法 (岩田法)	<15	mg/dL		
尿タンパク (1日量)	0.2	蓄尿	ベンゾニウムクロラ イド法 (岩田法)	<140	mg/day		蓄尿量を必ず 記載する
尿中アルブミ ン(随時尿)	0.2	尿	免疫比濁法	<30	mg/L		
尿中アルブミ ン(随時尿) (CRE 補正)	0.2	尿	免疫比濁法	<30	mg/g.Cr		
尿中アルブミ ン(1日量)	0.2	蓄尿	免疫比濁法	<30	mg/L		蓄尿の一部 尿量必須
尿中アルブミ ン(1日尿) (CRE 補正)	0.2	蓄尿	免疫比濁法	<30	mg/g.Cr		蓄尿の一部 尿量必須

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
U-Na	0.2	尿	イオン選択電極法	125～250	mmol/L/ day	★30-60 60-240	
U-K	0.2	尿	イオン選択電極法	50～100	mmol/L/ day		
U-Cl	0.2	尿	イオン選択電極法	70～250	mmol/L/ day		
U-Ca	0.2	尿	キレート法 (NM-BAPTA 法)	100～300	mg/day		
U-IP	0.2	尿	酵素法	400～800	mg/day		
U-Mg	0.2	尿	キシレンブルー法	72.9～121.5	mg/day		
U-CRE	0.2	尿	酵素法	0.5～1.5	g/day		
U-UN	0.2	尿	ウレアーゼ GLDH 法 (ICDH)	6.5～13.0	g/day		
U-UA	0.2	尿	ウリカーゼ POD 法	0.4～0.8	g/day		
尿浸透圧	0.3	尿	氷点降下法	50～1300	mOsm		
尿-GLU	0.3	尿	GOD 電極法	2～20	mg/dL		
亜鉛	0.2	血清	直接法 (5-Br-PAPS)	80.0～130.0	μ g/dL		
PreALB	0.2	血清	免疫比濁法	20-40	mg/dL		
乳酸	0.2	血漿	酵素法	4.5～19.8 0.5～2.2	mg/dL mmol/L		採血後氷冷 直ちに提出
心筋トロポニンI	0.5	血清	CLEIA 法	0.0～0.02	ng/mL		
ミオグロビン	0.2	血清	ECLIA 法	男性：28～72 女性：25～58	ng/mL		
CK-MB 蛋白	0.5	血清	CLEIA 法	≤3.3	ng/mL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
ICG	各 0.5	血清	比色法	0-10	%	★20-40 30-60	投与後の採 血は直ちに 提出
ICG-K	各 0.5	血清	比色法	0.168～0.206		30-120	
RF	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	<15	IU/mL	★30-60 60-240	
CRP	0.2	血清	ラテックス比濁法	0.00～0.14*	mg/dL		
ASO	0.2	血清	ラテックス凝集法	≤160	IU/mL		
IgA	0.2	血清	免疫比濁法	93～393*	mg/dL		
IgG	0.2	血清	免疫比濁法	861～1747*	mg/dL		
IgM	0.2	血清	免疫比濁法	男：33～183* 女：50～269*	mg/dL		
C3	0.2	血清	免疫比濁法	73～138*	mg/dL		
C4	0.2	血清	免疫比濁法	11～31*	mg/dL		
CH50	0.2	血清	リボソーム免疫 測定法	31.6～57.6	U/mL		
フェリチン	0.2	血清	ラテックス凝集法	男：14.4～303.7 女：4.1～120.2	ng/mL		
β ₂ -マイクロ (血清)	0.2	血清	ラテックス凝集法	<2.0	mg/L		
β ₂ -マイクロ (尿)	0.2	尿	ラテックス凝集法	<0.150	mg/L		
RPR	0.2	血清	ラテックス比濁法	<1.0	R.U.		
TPLA	0.2	血清	ラテックス比濁法	<10.0	T.U.		
HBs 抗体	0.2	血清	ECLIA 法	<10.0	IU/L		★60-90 90-240

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
HBs 抗原	0.3	血清	ECLIA 法	<0.05	IU/mL	★60-90 90-240	
HBc 抗体	0.2	血清	ECLIA 法				
HCV 抗体	0.3	血清	ECLIA 法	<0.9	COI		
HIV (簡易法)	0.3	血清	イムノクロマト法	(-)			
HIV1/2 抗原抗体	0.3	血清	ECLIA 法	<1.0	COI		
TSH	0.3	血清	ECLIA 法	0.61~4.23	mIU/L		
FT3	0.2	血清	ECLIA 法	2.3~4.0	pg/mL		
FT4	0.2	血清	ECLIA 法	1.1~1.8	ng/dL		
CEA	0.2	血清	ECLIA 法	<4.3	ng/mL		
AFP	0.2	血清	ECLIA 法	<7.0	ng/mL		
CA19-9	0.2	血清	ECLIA 法	<37.0	U/mL		
CA15-3	0.2	血清	ECLIA 法	<25.0	U/mL		
CA125	0.2	血清	ECLIA 法	<35.0	U/mL		
SCC	0.2	血清	ECLIA 法	0.6~2.5	ng/mL		
T-PSA	0.2	血清	ECLIA 法	<3.5	ng/mL		
HS-PSA (高感度)	0.2	血清	ECLIA 法	<3.5000	ng/mL		
KL-6	0.2	血清	CLEIA 法	105.3~401.2	U/mL		

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
SIL-2R	0.2	血清	CLEIA 法	121～613	U/mL	★60-90 90-240	
LH	0.2	血清	CLEIA 法	※3	mIU/mL		
FSH	0.2	血清	CLEIA 法	※4	mIU/mL		
プロラクチン	0.2	血清	CLEIA 法	※5	ng/mL		
プロゲステロン	0.2	血清	CLEIA 法	※6	ng/mL		
エストラジオール	0.2	血清	CLEIA 法	※7	pg/mL		
シスタチンC	0.2	血清	ラテックス凝集 比濁法	0.61～0.95	mg/L	★30-60 90-240	
BNP	0.5	血漿	CLEIA 法	<18.4	pg/mL		氷冷で提出
β-HCG	0.5	血清	CLEIA 法	※8	mIU/mL	★60-90 90-240	
HCG	0.5	血清	CLEIA 法	※9	mIU/mL		
尿中 HCG	0.5	尿	CLEIA 法	※10	mIU/mL		
インシュリン (IRI)	0.2	血清	CLEIA 法	2.1～19.0	μ U/mL		
コルチゾール	0.2	血清	ECLIA 法	3.0～19.6 (1)午前6時～10時： 7.07～19.6μg/dL (2)午後4時～8時： 2.96～9.77μg/dL	μ g/dL		
C-ペプチド	0.2	血清	CLEIA 法	0.74～3.18	ng/mL		
尿中 C-ペプ タイド	0.2	蓄尿	CLEIA 法		μ g/day		
グリコアルブ ミン	0.2	血清	酵素法	11～16	%	★30-60 90-240	
VB-12	0.2	血清	ECLIA 法	197～771	pg/mL	★60-90 90-240	

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
葉酸	0.3	血清	ECLIA 法	3.89-26.8	ng/mL	★60-90 90-240	
NT-proBNP	0.2	血清	ECLIA 法	< 125	Pg/mL		
MPO-ANCA	0.2	血清	CLEIA 法	< 3.5	U/mL		
PR3-ANCA	0.2	血清	CLEIA 法	< 3.5	U/mL		
抗 ds-DNA 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 12	IU/mL		
抗 ss-DNA 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 25	AU/mL		
抗 SS-A 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 SS-B 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Sm 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 RNP 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Scl-70 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗セントロメ ア抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗 Jo-1 抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 10	U/mL		
抗ミトコンド リア抗体	0.1	血清	CLEIA 法	< 7	Index		
MMP-3	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	男 36.9-121 女 17.3-59.7	ng/mL	★30-60 60-240	
プロカルシト ニン	0.2	血清	ECLIA 法	< 0.046	ng/mL	★60-90 90-240	
エタノール	0.2	血清	比色法	< 50	mg/dL	★30-60 60-240	

検査項目	検体量 (mL)	検査 材料	検査方法	基準範囲	単位	所要 時間 (分)	備考
テイコプラニン	0.2	血清	ラテックス免疫 比濁法	10-30	μ g/mL	★30-60 60-240	採血時間、 投薬時間を 記載
ジゴキシン	0.3	血清	ECLIA 法	0.5～1.1	ng/mL		
バンコマイシン	0.3	血清	ラテックス法	10-20	μ g/mL		
バルプロ酸	0.3	血清	酵素法	40～125	μ g/mL		
フェノバルビ タール	0.3	血清	ラテックス法	10～35	μ g/mL		
カルバマゼピ ン	0.3	血清	ラテックス法	4～12	μ g/mL		
フェニトイン	0.3	血清	ラテックス法	5～20	μ g/mL		
テオフィリン	0.2	血清	ラテックス法	5-20	μ g/mL		
メトトレキサ ート	0.3	血清	酵素法		μ mol/L		
シクロスポリ ン	0.3	全血	ECLIA 法		ng/mL		
タクロリムス	0.3	全血	ECLIA 法		ng/mL		
血液ガス分析	0.2	全血	電極法	※11		★10	
SARS-CoV2 抗原	0.6	ぬぐい 抽出液	CLEIA	< 1.0	pg/mL	★60-90	
インフルエン ザ抗原	0.6	ぬぐい 抽出液	CLEIA	< 1.0	COI		

※1 蛋白分画

項目	基準範囲
A/G	1.32～2.23
アルブミン	59.1～72.8 (%)
α1	1.9～3.3 (%)
α2	5.5～10.6 (%)
β	5.9～10.1 (%)
γ	10.8～24.2 (%)

※2 Mg

項目	基準範囲 (mg/dL)
2～4 日	1.51～2.21mg/dL
5ヶ月～6歳	1.70～2.31mg/dL
6～12歳	1.70～2.09mg/dL
12～20歳	1.70～2.21mg/dL
成人	1.60～2.60mg/dL
60～90歳	1.60～2.41mg/dL
90歳以上	1.70～2.31mg/dL

※3 LHの参考基準範囲

	参考基準範囲 (mIU/mL)
女性 非妊婦 卵泡期	1.1～12.1
排卵期	2.0～39.7
黄体期	0.7～21.6
閉経後	8.4～67.7
男性	0.52～7.8

※4 FSHの参考基準範囲

	参考基準範囲 (mIU/mL)
女性 正常月経 卵泡期	2.6～11.9
排卵期	2.8～15.6
黄体期	1.4～9.6
閉経後	13.3～157.1
男性	1.3～17.0

※5 プロラクチンの参考基準範囲

	参考基準範囲 (ng/mL)
女性	1.6～21.9
男性	3.0～17.3

※6 プロゲステロンの参考基準範囲

		参考基準範囲 (ng/mL)
女性	卵胞期	≤1.00
	黄体期	≤15.5
	閉経後	≤0.73
	妊娠前期	2.16～54.89
	妊娠中期	18.01～82.26
	妊娠後期	60.00～316.52
男性		≤0.88

※7 エストラジオールの参考基準範囲

		参考基準範囲 (pg/mL)
女性	卵胞期	<20～121.6
	排卵期	<20～231.8
	黄体期	<20～463.4
	閉経後	≤53.3
男性		<42.0

※8 βHCG の参考基準範囲

		参考基準範囲 (mIU/mL)
女性	成人女性	<0.5
	妊娠 4～7 週間	1,930～167,000
	妊娠 8～11 週間	25,200～181,000
	妊娠 12～20 週間	6,780～142,000
	妊娠 21～37 週間	1,130～142,000
男性		<0.5

※9 HCG (血清) の参考基準範囲

		参考基準範囲 (mIU/mL)
女性	成人女性	<0.5
	妊娠 4～7 週間	2,150～167,000
	妊娠 8～11 週間	25,600～180,000
	妊娠 12～20 週間	7,310～136,000
	妊娠 21～40 週間	1,170～143,000
男性		<0.5

※10 HCG (尿) の参考基準範囲

		参考基準範囲 (mIU/mL)
女性	成人女性	<2.5
	妊娠 4～7 週間	10～33,400
	妊娠 8～11 週間	117,000～326,000
	妊娠 12～20 週間	1,100～81,100
	妊娠 21～40 週間	927～46,200
男性		<2.5

※11 血液ガス分析の基準範囲

	基準範囲
pH	7.35～7.45
pCO ₂	35～45 mm Hg
pO ₂	80～100 mm Hg

<血液検査項目一覧>

*JCCLS 共用基準範囲

検査項目	検体量 (mL)	検査材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考
RBC	2.0	全血 体腔液	シースフロー DC 検出法	男：4.35～5.55* 女：3.86～4.92*	10 ⁶ /μL	★30～60 30～240	
WBC			フローサイトメトリー法	3.3～8.6*	10 ³ /μL		
HGB			SLS-HGB 法	男：13.7～16.8* 女：11.6～14.8*	g/dL		
HCT			赤血球パルス波高値検出法	男：40.7～50.1* 女：35.1～44.4*	%		
PLT			シースフロー DC 検出法	15.8～34.8*	10 ⁴ /μL		
MCV			計算法	83.6～98.2*	fL		
MCH			計算法	27.5～33.2*	pg		
MCHC			計算法	31.7～35.3*	g/dL		
RDW			ディスクリミネーターで解析	11.6～16.5	%		
PCT			血小板粒度分布から解析	0.151～0.327	%		
MPV			計算法	7.4～10.9	fL		
PDW			ディスクリミネーターで解析	12.0～16.5	%		
網赤血球			フローサイトメトリー法	5～25	‰		
末梢血液像			2.0	全血 体腔液	フローサイトメトリー法		

検査項目	検体量 (mL)	検査材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考	
PT	1.8	血漿	凝固時間法 (Quick 一段法)	% : 70~130	%	★30~75 30~240		
				秒 : 9.8~12.1	秒			
				INR : 0.90~1.10				
APTT			凝固時間法 (Langdell 法)	24.0~34.0	秒			
FIB				トロンビン凝固時間法	200~400			mg/dL
アンチトロンビン活性				合成基質法	80~130			%
FDP				(ラテックス) 免疫比濁法	5.0µg/mL 以下			µ g/mL
D ダイマー (DDU)	(ラテックス) 免疫比濁法	1.0µg/mL (DDU) 以下	µ g/mL					
コラーゲン 1.0 (血小板凝集能)	9.0 (4.5mL×2 本)	血漿	透過光法	50%以上 明確な基準値が設定されていないため、参考基準値となる。	%	60~120	前日までに要予約 当日オーダの場合は検体提出前 TEL (検体受付 13:00 まで) 空腹時採血厳守	
コラーゲン 5.0 (血小板凝集能)								
ADP1.0 (血小板凝集能)								
ADP10.0 (血小板凝集能)								
赤沈 1 時間値 2 時間値	1.1	全血	Westergren 変法	1 時間値 : 男 : 1~10 女 : 2~15 2 時間値 : 明確な基準範囲は設定されていない。	mm	60~120	臨床的に重要なのは 1 時間値であり、2 時間値は 1 時間値の確認程度の意味合いとなる。	
骨髓検査	0.5	骨髓	目視	/	%	1~2 日	前日までに要予約	
ペルオキシンダーゼ染色								
PAS 染色								
エステラーゼ二重染色								
Fe 染色								
NAP 染色	0.05	全血	目視 (朝長法)	/	% (陽性率) 及び 陽性指数 (スコア)	当日	直接採血	
好酸球	/	鼻汁 喀痰等	目視	(-) ~ (3+)	/	1~2 日	乾燥固定標本または生検体で提出	

<一般検査項目一覧>

検査項目		検体量 (mL)	検査材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考	
尿 定 性	比重	12	新 鮮 尿	屈折率法 試験紙法	1.009～1.029		★30～60 240	比重試験紙法は 造影剤使用時 原理の違いにより、 屈折法と試験紙法で 結果の乖離の可能性あり 随時尿 採尿後は速やかに提出	
	pH			試験紙法	弱酸性				
	蛋白			試験紙法	(-)				
	糖			試験紙法	(-)				
	ケトン体			試験紙法	(-)				
	潜血			試験紙法	(-)				
	ウビリノゲン			試験紙法	(+/-)～(1+)				
	ビリルビン			試験紙法	(-)				
	亜硝酸塩			試験紙法	(-)				
	白血球反応			試験紙法	(-)				
	U-CRE 半定量			試験紙法					
	P/C 比			計算	<150				mg/gCr
	ALB			試験紙法					mg/L
	A/C 比			計算	<30				mg/gCr
尿沈渣				フローサイトメ トリー法/鏡検	※12			尿沈渣は目視がある場合は 240 分	
尿蛋白定量		2	蓄尿	ベンゾニウムクロ ロライド法 (岩田法)	<150	mg/day	★30-60 60-240	蛋白定性 (1+) 以上は自動的に 定量	

検査項目		検体量 (mL)	検査材料	検査方法	基準範囲	単位	所要時間 (分)	備考
髄液	細胞数	2.0	髄液	鏡検	※13	/μL	★30～60 90	採取後 直ちに提出
	リコール 蛋白定量			ベンゾニウムクロライド法(岩田法)	※14	mg/dL		
	リコール 糖定量			GOD 電極法	50~75 (血糖値が 正常の場合)	mg/dL		
	リコール クロール			イオン選択電極法	118~130	mmol/L		
	リコール ALB			免疫比濁法	9~30	mg/L		
	Li 乳酸			酵素法	≤25	mg/dL		
	Li IgA			免疫比濁法	0.1~0.5	mg/dL		
	Li IgG			免疫比濁法	1.0~3.0	mg/dL		
	Li IgM			免疫比濁法	≤0.1	mg/dL		
穿刺液	比重	2.0	穿刺液	屈折法	/	/	★30～60 240	
	蛋白			屈折法				
関節液		2.0	関節液	鏡検	結晶なし	/	1日	採取後、速やかに 提出 休日・夜間 受取不可
便	潜血 RPHA	/	便	免疫法	(-)	/	★30 240	採取後 7日以内
	ズダンⅢ染色	拇指頭大	便	ズダンⅢ染色法	(-)	/	★30～60	
	寄生虫卵 直接法			直接塗抹法	(-)	/	当日	新鮮な状態が 望ましい
	寄生虫卵 集卵法			ホルマリンエーテル法	(-)	/	1～2日	
	赤痢アメーバ			直接塗抹法 ホルマリンエーテル法	(-)	/	1～2日	採取後、25℃以上に 保ち、1時間以内に 提出。但し、粘血便 の場合は直ちに提出
精液検査	/			精液	/	※15	/	当日
CAPD-細胞数		2.0	CAPD 廃液	鏡検	/	/μL	★30～60 90	採取後 直ちに提出

※12 尿沈渣基準値

項目	基準範囲
赤血球	4 個/HPF 以下
白血球	4 個/HPF 以下
細菌	(-)

※13 髄液細胞数基準値

年齢	参考基準値
新生児	20/ μ L 以下
乳児	10/ μ L 以下
乳児以降	5/ μ L 以下

※14 髄液蛋白の年齢別基準値

年齢	基準値 (mg/dL)
生後 7 生日	35～180
30 生日	20～150
～90 生日	20～100
～1 歳	20～60
2 歳～14 歳	15～40
15 歳～	10～35

※15 精液の基準値

項目	参考基準値
液量	2. 0mL 以上
液化	あり (complete)
色調	乳白色 (grey opalescent)
運動率	50%以上
RoundCell	1×10^6 /mL 未満
正常形態率	15%以上